

第二回元素化学セミナー・講演会

◆講師◆ 茨城大学工学部物質科学工学科

吾郷 友宏 准教授



◆日時◆ 令和3年 9月14日 (火)

15:30 ~ 17:00

◆演題◆ ホウ素の特徴を活かした発光分子の開発と
有機エレクトロルミネッセンス (EL) への応用

◆場所◆ ハイブリッド形式

・筑波大学1E203室

・Zoomによるオンライン講演会

(事前に御連絡いただければzoom会議室情報をお伝えします。)

有機エレクトロルミネッセンス (EL) を用いたディスプレイや照明は高画質、低消費電力、薄型構造といった優れた特長を有しており、次世代の発光技術として期待されているが、一方で素子寿命や耐久性等の材料特性には改善の余地が多い。特に青色有機ELは、緑や赤の有機ELに比して電力-光変換効率や色純度が低く、革新的な青色発光体の開発が望まれている。本講演会では、筆者がこれまでに行ってきたジベンゾヘテラボリン構造を持つ含ホウ素蛍光分子の合成研究を紹介した上で、最近の有機EL用青色発光体への応用について説明する。本研究に関連した、他グループの含ホウ素青色発光体の研究例も紹介する予定である。

*この講演会は、「有機化学特論 (FE14131)」 (化学類) の一部になります。

◆問合せ先◆

笹森貴裕 (筑波大学数理物質系化学域・TREMS)

029-853-4412、sasamori@chem.tsukuba.ac.jp